

PMDA 医療安全情報

(独)医薬品医療機器総合機構

pmda No.11 2009年 8月

人工呼吸器の取扱い時の注意について (その2)

POINT 安全使用のために注意するポイント

(事例 1) 低圧アラームが鳴り続けたため回路のリークを疑ったが、詳しく点検すると気道内圧チューブ内が水滴で閉塞しており、気道内圧が正確に測定されていないことに気づいた。

1 気道内圧チューブ取扱い時の留意点について

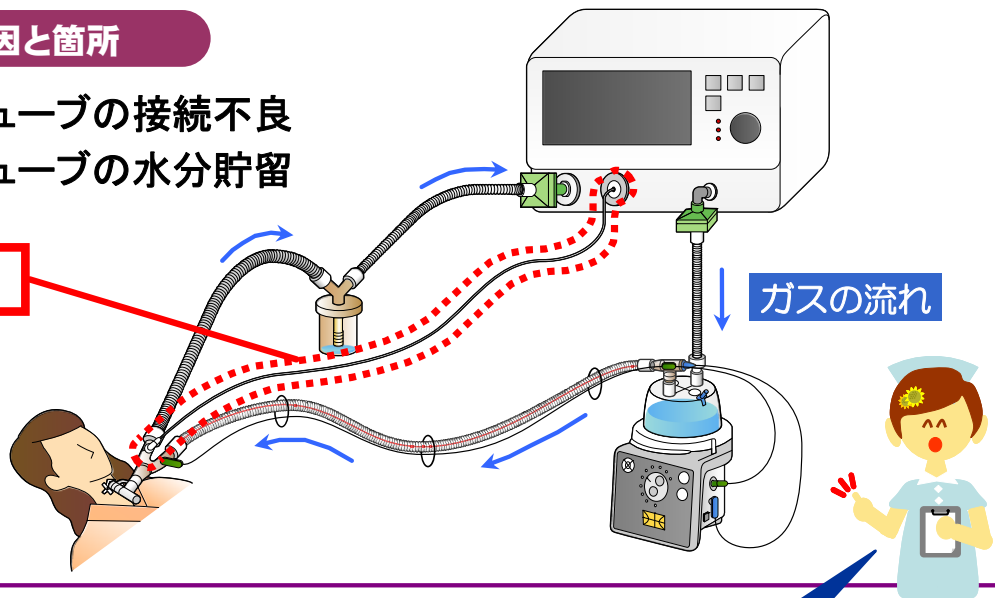
- 低圧アラームや高圧アラームなどが鳴った時は、気道内圧チューブが水分により閉塞している可能性もあります。

考えられる原因と箇所

- ① 気道内圧チューブの接続不良
- ② 気道内圧チューブの水分貯留

気道内圧チューブ

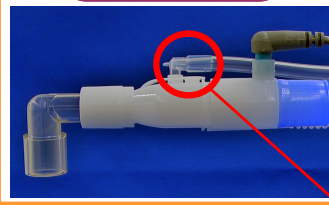
ガスの流れ



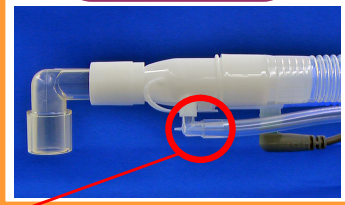
気道内圧チューブが水分で閉塞しないように、次の点に注意しましょう。

- ① 水分が流れ込まないように、気道内圧チューブの差込口が常に上になるようにすること。
- ② 気道内圧チューブ内に水分が見られた場合には、速やかに取り除くこと。

正しい向き



誤った向き



気道内圧チューブの差込口